

押し花のペンダントづくり

今回は保育園年中組の子ども達と行った製作活動をご紹介します。

春にれんげ畑で遊び、持ち帰ったれんげで押し花を作ってみました。初めての押し花体験で、「完成した押し花はようになるかな？」の質問に「枯れる～！」と言っていた子ども達でしたが、きれいに完成した押し花を見てとても感動していました。作った押し花をどうやって持ち帰ろうかとみんなで考え、ペンダントを作ることにしました。

<用意するもの>

- れんげの花（季節の花）
- タコ糸
- コピー用紙など白紙
- 木の枝を輪切りにしたもの
- ストロー（今回はカラフルなストローを用意しました）
- 木工用ボンド
- 重し用の本（図鑑など）



<作り方>

- ① コピー用紙に、れんげの花を重ならないようにおいて挟む。
- ② 図鑑の中に挟み込んで、更に上から重しを置く。
☆今回は子どもたちのお道具箱を重し代わりにしました。
- ③ 木の枝を輪切りにしたものに押し花を置き、その上からボンドを塗る。
☆裏面はマーカーでお絵かきをして、その上にもボンドを塗りました。輪切りの表面がザラザラしていて絵が描きにくい場合は、紙やすりで削るときれいになり絵が描きやすいです。
- ④ 乾いたらキリで穴をあけ、タコ糸を通す。
- ⑤ タコ糸に細かく切ったストローを通していき、糸の端を結んで完成！
☆タコ糸の端にセロハンテープを巻き、糸がほつれないようにしました。



子ども達はこのペンダント作りから植物や虫、生きもの、季節ごとの自然に興味をもち、積極的にふれたり、見たりするようになりました。



がんばってるママに
プレゼントしよう！

今回は保育園児でも安全にできるようにペンダントにしましたが、キーホルダーにしたり、安全ピンを裏面にグルーガン（ホットボンド）でつけてバッジにしてもいいですね。

（文責：溝部）

